# コミュニティとしての科学と芸術が抱える課題

## 2020年9月15日(火) 15:00~17:00

### ゲスト 磯部 洋明(京都市立芸術大学・准教授)

科学と芸術のコラボは色々とあるが、「なんとなくいい感じ」以上の何かにするのはなかなか難しい。しかし明らかに必要かつ有益なのは、科学と芸術それぞれのコミュニティが抱えている課題の共有である。両者に共通の課題には、外部とのコミュニケーション不全、政治や経済との距離感、学問/表現の自由と研究者/表現者の倫理、そしてコミュニティ内部のハラスメントやジェンダーギャップなどがある。この観点からの科学と芸術の連携の可能性について、科学コミュニケーションの位置付けに留意しながら議論したい。

#### 会場 今回はオンライン会議システム「Zoom」を使って行います。

- \*Zoom は PC やダブレットなどあらゆるデバイスに対応していますので、ネット環境のある所ならどこからでもご参加いただけます。
- \*お申し込みいただいた方に、Zoom のミーティング情報(URL やパスワード)をご案内いたします。

#### 定員 とくになし

\*当日参加も可能です!

#### 持ち物 とくになし

#### 主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志(今回の担当:清水智樹)

\*この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」の第 12 回研究会と共同開催いたします。

お申し込みはコチラから → https://forms.gle/V4J2dAxDEXt1T2CbA